



子どもの心と親の心

一分かってもらえる ことの大切さ

思春期の子どもは、不安定で気持ちが落ち着かないことがあります。そういう時期だからこそ、黙って見守ることが大切だといわれます。親にはなかなか言えなくても、周りに心の内を語る友だちがいれば悩みを上手に解決していく子どももいます。しかし、誰にも言えずに一人で苦しんでいる子どもたちもいることでしょう。

帰ってきた時の様子が少し変だとか笑顔が減ったなど、日頃から子どもの表情や様子を見ていれば、親は何となく変化を感じるもの。ところがせっかく敏感に察知して子どもの話を聞こうとしながら、大人はつい一方的に話をしてしまいがち。それではせっかく悩みを打ち明けようとしていた子どもに「初めから何も言わない方が良かった…」と感じさせてしまいます。

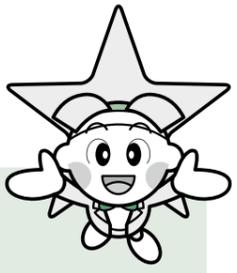
親や大人は「心配している」ことを伝え、子どもが話しやすいように尋ねながら、ゆっくり話を聞きましょう。子どもが言葉少なに語る中に、心の内が分かる糸口が見つかるかもしれません。親や大人が自分の気持ちを分かろうとしてくれていることが伝われば、子どもの悩みも少し軽くなるのではないのでしょうか。話せば誰かが分かってくれた体験があれば、苦しみや怒りを自分だけで抱え込まずに済みます。一人でも分かってくれる人が周りにいることが、思春期の子どもへの心の支えになるはず。



教育相談センター「鶴山塾」 学校のこと、友だちのこと、
家族のこと、気軽に相談してください
山下87番地 電話 22-2523

あ晴れ!おかもと末国文祭

国民文化祭・おかやま2010 平成22年10月30日(土)~11月7日(日)



Vol.3 洋学シンポジウム

洋学シンポジウム 江戸時代の国際文化交流

～洋学・異国人・異国船～
伝えたい きらめく津山洋学の足跡

- ※とき 11月6日(土)
 - ※ところ 津山鶴山ホテル (東新町)
 - ※コーディネーター 竹内 誠さん (江戸東京博物館館長)
 - ※パネリスト
大石 学さん (東京学芸大学教授)
山本 博文さん (東京大学史料編纂所教授)
岩下 哲典さん (明海大学教授)
磯田 道史さん (茨城大学准教授)
 - ※内容 コーディネーターによる基調講演と各パネリストの報告の後、シンポジウム・質疑応答
- ※シンポジウム終了後には、津山洋学資料館の見学会を実施します

今秋、岡山県で開催される国民文化祭。今回は津山市で開催される6つの事業のうち、洋学シンポジウムを紹介しましょう。

3月19日(金)、西新町の箕作阮甫旧宅隣に、新しい津山洋学資料館がよいよオープンします(2~7ページの特集記事をご覧ください)。これを契機に「洋学」をグローバルな視点から見つめ直してみよう。

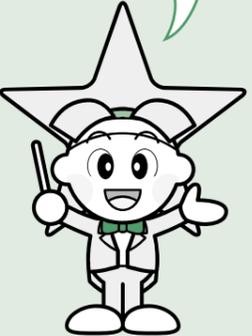
江戸時代に「洋学」が受け入れられていく過程を語る時、これまでは書籍によるものが主体であり、注目が偏る傾向がありました。今、視点

を「ヒト」や「モノ」へと移し、「洋学」を多面的にとらえる試みが求められています。そうした試みの一つとして、このシンポジウムを開催します。「ヒト」から「モノ」へと拡張する国際交流や、「モノ」への好奇心がいざなう「洋学」への関心に、岡山地域の地域性も加味しながら光を当てての企画です。

コーディネーターやパネリストには、近世史研究の第一線で活躍中の研究者をお迎えします。新しい研究成果なども踏まえた興味深い話が展開されるものと思えますので、どうぞご期待ください!

問い合わせ先 国民文化祭推進室 32-7001

3月19日にオープンする新津山洋学資料館。津山洋学の歴史を体感してほしい。



エコるびー

引っ越し・一時多量ごみの出し方

3、4月は入学や転勤などで引っ越しの多い時期です。引っ越しなどで出る多量のごみを一度に収集ステーションに出されても収集することはできません。何回かに分けて出すか、処理施設に直接持ち込んでください。

持ち込み先や持ち込みできるものは、住んでいる地域によって異なります。事前に各支所市民生活課または環境事業所に確認してください。

☆ごみにしないで、リユース・リサイクル
《使用できる家具・家電製品など》
リユースプラザ津山「くるくる」やリサイクルショップでリユース(再使用)に提供しましょう

《家電リサイクル法対象品とパソコン》
希少金属も回収されるリサイクルに協力しましょう(市では処理できません)

※家電リサイクル法対象品:テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機

※詳しくは、次のホームページをご覧ください
家電リサイクルセンター
<http://www.kc.aeha.or.jp>
パソコンセンター
<http://www.pc3r.jp/>

《古紙などの資源物》
地域の資源回収や青空リサイクルプラザ、リユースプラザ津山「くるくる」などに出しましょう



問い合わせ先 環境事業所 22-8255

環境奉行「エコるびー」

けんころ広場

タバコやお酒の害から妊婦さんと赤ちゃんを守るう!! ～おなかの赤ちゃんを守るのはあなたです～



妊娠中に喫煙すると...
煙の中のニコチンが体内に吸収され、全身の血管を収縮させます。そのため、胎児の各器官へ酸素や栄養素が運ばれにくくなり、母体からの栄養が不足しがちになります。喫煙する妊婦の赤ちゃんは、子宮内での発育が遅れ、低出生体重児(2,500g未満で生まれる赤ちゃん)として生まれることがあるといわれています。さらに、先天異常や分娩時の異常、流産、早産などが起こる危険が高まることも明らかになっています。

また、たばこの煙には喫煙者が直接吸い込む煙(主流煙)と火のついた方から出る煙(副流煙)があります。有害物質は主流煙より副流煙に多く含まれています。妊婦自身が喫煙しないことはもちろんのこと、周りの人もたばこの煙を妊婦に吸わせないようにしましょう。

妊娠中に飲酒すると...
妊娠中に摂取したアルコールは胎盤を通過して直接胎児に運ばれるため、母親と血中アルコール濃度が同じになります。そのことにより、早産や分娩異常、場合によっては胎児性アルコール症候群(母親の飲酒が原因で引き起こされる胎児の障害)になることもあります。妊娠中は生まれてくる赤ちゃんのために、お酒を飲むのはやめましょう。



問い合わせ先 健康増進課 32-2069